

# 自治基本条例メモ



第32話

お問い合わせ  
政策調整課（米原庁舎）  
☎52-6626 ㊟52-5195

① 今回の「市民自治組織」とまちづくり活動についてのお話だよ。

地域のまちづくり活動は、自治会ごとに行われているよね。

うちのお父さんやお母さんも自治会の一斉清掃や防災訓練に参加しているよ。

② ここで質問。大きな川を、一つの自治会だけで掃除するとしたら、川はきれいになるかな？

川の周りにはある自治会が一緒に掃除しないと、川全体はきれいにならないよ。

つまり、「一つの自治会よりも広い範囲で活動することが必要な場合もあるのね。」

③ 一つ自治会だけでは対応が難しい課題もあるもんね。

ところで、今米原市に「市民自治組織」ってあるの？

伊吹北部地域で活動している「東草野まちづくり懇話会」や「姉川せせらぎ懇話会」等が市民自治組織だよ。

他に柏原地域でも、市民自治組織を作る動きがあるんだって。

自治会同志が協力し合うまちづくり活動で、米原市がもっと元気になるといいな。

④ そうなんだ。自治基本条例では、いくつかの自治会が協力して活動するための「市民自治組織」を作ることができるとしているんだ。



政策調整課の職員が、まちづくり団体を訪問。熱意をもって活動されているみなさんの「心意気」をレポートします。

## 地蔵川とハリヨを守る会

- メンバー 5人
- 代表 代表 大橋 邦男さん



こうした取り組みを次代に伝えていくためには、協力者が必要です。随時、会員を募集していますので、みなさんもぜひ活動にご参加ください。

毎年、美しい梅花藻が見られる醒井の地蔵川。その清流は、ハリヨが生息していることでも有名です。ハリヨは、きれいな水中でしか生きられない魚で、背中などにとげを持ち、産卵時にはトンネル状の巣を作るのが特徴です。



しかし、近年、地蔵川のハリヨは人為的に放流された同じ仲間の「イトヨ」という魚と交雑が進み、数が減っています。今回お邪魔した「地蔵川とハリヨを守る会」は、地蔵川のハリヨや梅花藻を守る活動をされています。

この会では、地蔵川にたまった土砂をならしたり、川周辺のパトロールをして、ハリヨが住みやすい環境を整える活動を地道に続けられています。また市内や長浜の小中学校に出向いて、川遊び等の自然体験活動ガイドもされています。

代表の大橋さんは、元々自然環境に関わる活動をされていましたが、平成7年、山形で開催された「トゲウオ全国サミット」に参加されたことがきっかけで、この活動を始められました。「地蔵川を取りまく環境はどんどん変わり、昔はたくさんいたハリヨがこんな状況になってしまったのは悲しい。夢は、もう一度地蔵川を純粋なハリヨばかりにすること」と語る大橋さん。醒井や地蔵川を愛する気持ちが、継続的な活動の原動力になっていると感じました。

掲載希望はこちらまで

お問い合わせ 政策調整課 市民協働推進室(米原庁舎)  
☎52-6626 ㊟52-5195